

文教民生常任委員会

令和8年5月7日
委員会室

1 開 会

2 協議事項

- (1) 令和7年度事務事業評価対象候補事業について
- (2) 所管事務調査について
- (3) 「てとて広場」調査報告（林委員）
- (4) その他

てとて広場調査報告

林 晴信

調査事項：送迎通所支援について

■子どもの居場所 フリースクール部事業（2026年4月～）

定員10人 現在は小学生が2人通所
月額1万円＋保険料年額800円
毎週月曜日～水曜日 9時～15時

■食支援・食育講座（無料）

経済的困窮状態が継続する子育て中20世帯が対象
毎月第4土曜日に野菜と食材の配送を行う（食支援）
対象世帯の子どもさん10人に、食育講座と調理実習（年3回）

■学習サポート

小中学生 定員5人
月額1万円
週1回（日時設定は担当の先生と行う）

■子どもの居場所トワイライトスペース（無料）

小学生～高校生
毎週木・金曜日 15時～20時、毎週土曜日 18時～20時
軽食提供

■子どもの居場所地域体験活動部

小中学生 定員5人程度
参加費は無料だが、その都度の材料費は実費負担
毎週土曜日 10時～12時（13時以降はフリースペース）

【聞き取り内容】

送迎通所支援については、以前はボランティアスタッフにもお願いしていたが、現在は東野代表だけで行っている（自家用車）。黒田庄地区や重春地区（谷町）など。以前は他市へも行っていたことがある。需要は確実にある。現行でも芳田にも日野にもということになれば手は回らない。行政からの支援があればありがたい。スタッフに送迎をお願いするのも気が引けるので、有償だとお願いしやすい。実感として、不登校気味の児童生徒の保護者は経済的困窮や、ネグレクト気味の方が多いように感じる。つまり子どもの送迎に関われない・関わらないのが本当ではないだろうか。加東市のペイフォワードも送迎支援を行っているし、神戸市などは電車の定期を無償化している。めぐリンはともかく、むすブンは使えるかもしれないが、そもそもその日によって行く行かないが決まることも多いので予約が機能するかどうか。

万が一の時の保険の問題は、以前は社会福祉協議会の保険（送迎サービス補償）に加入していたが、現在は、子どもたちがスポーツ安全保険に入っているのものでそれで対応している（他団体でも適用できるのだろうか？）

—調査事項以外の話—

- 昨年度からスマホやゲームを禁止にすると中高生が来なくなった（今年度は解禁予定）
- 元教員もボランティアスタッフで多く関わってくれている。
- 子どもの頃から通ってくれていた北高生などもボランティアで来てくれていた。（現在は高校も卒業したが、未だに来てくれて手伝ってくれているそうです）
- 最近では兵庫教育大学生で来てくれる学生も各地でひっぱりダコなのか減った。
- 今年度は経験者や子どもとの関わり方や心理をこれから学ぶ意欲のある専任スタッフを募集中（ハローワーク等）
- 有償の学習サポート事業は今年度からだが、マンツーマンでの対応を予定している。
- 西脇の子どもたちの読解力はとても低いように感じる（驚くほど）。
- 西脇市は日本財団などの支援に後ろ向き過ぎるのでは（もっと活用を）。
- 谷町団地など市営住宅はひとり親家庭も多いので、そこで子ども食堂などができないものか。